

三菱航空機株式会社

お客様概要

三菱航空機株式会社
Mitsubishi Aircraft Corporation



企業概要 (2018年7月31日現在)
 営業開始: 2008年4月
 本社: 愛知県西春日井郡豊山町
 資本金: 1,000億円 (資本準備金を含む)
 取締役社長: 水谷 久和
 従業員数: 約 1,600名



三菱重工業株式会社
MRJ事業部 事業化推進室 IT推進グループ長 兼
三菱航空機株式会社 業務部 主席部員
神社 一 氏



三菱重工業株式会社
MRJ事業部 事業化推進室 IT推進グループ
ITインフラチーム 主席チーム統括
福本 裕樹 氏



三菱重工業株式会社
MRJ事業部 事業化推進室 IT推進グループ
ITインフラチーム
大堂 貴史 氏

【導入製品】
Citrix Virtual Apps and Desktops

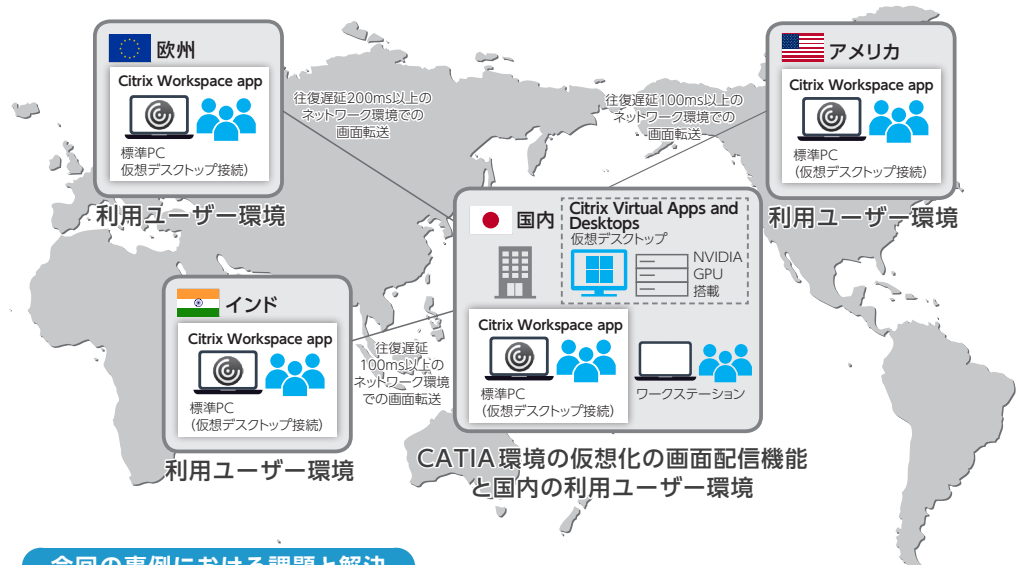
シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社
<http://www.citrix.co.jp/>

©2018 Citrix Systems, Inc. All rights reserved.
 Citrix®, Citrixロゴおよびその他のマークは、Citrix Systems, Inc. および/またはその一つもしくは複数の子会社の商標であり、米国の特許商標庁および他の国において登録されている場合があります。
 その他の社名、商品名はそれぞれの所有者の登録商標または商標です。

Citrix Virtual Apps and Desktops (旧称: Citrix XenDesktop Enterprise) の活用により、海外から国内の設計支援システムへアクセスできる環境を実現 次世代旅客機的设计・開発業務を大幅にスピードアップ

現在三菱航空機では、これまで三菱重工グループが培ってきた航空機開発・製造の技術力をベースに、世界最高レベルの運航経済性と客室快適性を兼ね備えた次世代リージョナルジェット機(以下、MRJ)を開発しています。MRJは最先端の空力設計技術や騒音解析技術、最新鋭エンジンなどを採用しており、大幅な燃費低減を実現するとともに、騒音や排出ガスも大幅に削減し、エアラインの競争力と収益力の向上を支援します。CitrixのテクノロジーとしてCitrix Virtual Apps

and DesktopsとNVIDIAグラフィックボードを活用した3D CADアプリケーションの仮想デスクトップシステムを構築しました。さらに、ネットワーク高遅延環境であっても、ワークステーションと同様のパフォーマンスと品質を実現しました。これにより、全社横断的かつ国の枠を超えた作業が可能となり、グローバル規模/24時間体制で設計・開発できる環境を構築することができ、開発・設計スケジュールの短縮や生産性の向上が可能となりました。



今回の事例における課題と解決

Citrix Virtual Apps and Desktopsの活用により、三菱航空機が抱えていたさまざまな課題が解決されています。

	かつて抱えていた課題	システム導入による課題解決
人	<ul style="list-style-type: none"> ● 協力会社を含めグローバル規模での人員による設計、開発できる環境の提供が急務であった。 ● システム利用にあたっては、海外の人員は来日する必要があり非効率であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● グロス・ファンクショナル・チーム、かつクロスリージョンで1つの統合された環境で設計、開発することが可能となった。 ● 各国からリモートで、設計、開発業務が実施できる環境の提供が可能となった。
モノ・カネ	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内での設計、開発が必要な業務の場合は、日本のオフタイムには業務が停止することとなり、業務の効率化が必要であった。 ● 各拠点毎のノウハウ、ナレッジを有効活用できていなかった。 ● 設計、開発拠点毎に、高価なワークステーションを個別に購入する必要があり、かつ購入におけるリードタイムによりシステムをすぐに利用できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本のオフタイムでも、グローバルで設計、開発業務を24時間体制で行えるようになり、設計・開発業務を加速させることによる納期短縮や業務の効率化が可能となった。 ● 一ヶ所に集約された設計、開発データによりノウハウ、ナレッジの有効活用が可能であり、仮想デスクトップとの距離を最短距離にすることにより、データの書出し/読み込み時間を短縮することが可能となった。 ● ワークステーションの購入手配にかかっていたリードタイムを仮想デスクトップを配布することにより手間と時間を削減が可能となった。
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ● 協力会社や各設計、開発拠点側にデータを複写、保持させることによる知的財産・機密データの流出におけるセキュリティ上の不安があり、協力会社や各設計、開発拠点側にデータを複写、保持させることができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 協力会社や各設計、開発拠点側にデータを複写、保持せずにデータセンターからの画面転送のみで業務を行うことが可能となり、データ漏洩等の情報セキュリティの強化が可能となった。 ● Windowsのセキュリティパッチの適用がシステム管理者側でもできるため、IT統制が可能となった。

今後について

三菱航空機では、他の研究・開発や設計の現場、国内外の協力会社に対しても、本システムの活用を計画しています。また、Citrix Virtual Apps and Desktops導入により、さまざまなデバイスでどこからでも安全に設計・開発業務が行えるようになったことを活かし、ワークスタイル改革への取り組みも検討。さらなる業務の効率化を目指しています。